

ニツ井高校 甲子園への挑戦

制作：秋田県立ニツ井高等学校生徒会

担当者：池端悠真 宮腰智大 佐々木理 千田琴音

甲子園予選秋田県大会 ニツ井・小坂連合チーム大健闘！！

7月15日にさきがけ八橋球場で平成高校と対戦し、10対0で負けましたが、選手の姿は私達に勇気を与えてくれました。野球部主将を始め、生徒の声を紹介します。



3年 応援団長 下坂 柚希

野球応援で今回はブラスバンドがなく、不安だったのですが、ブラスバンドがなかった分、皆の声が選手により届きやすかったと思います。皆、練習の時はあまり声が出ていませんでしたが、本番では響き渡る大きな声を出してくれたので、とても感動しました。ニツ井高校の応援団長として平成高校の応援団とエールの交換ができ、よい交流の場になりました。

2年 野球部主将 成田 武正

夏の大会では、みなさん応援で試合を盛り上げていただき、ありがとうございました。私達は平成高校にコールド負けをしてしまいましたが、この試合で味わった悔しさをバネに、これからの厳しい練習にうちこみ、来年の夏には、必ず1勝したいと思います。応援団長を中心に応援に参加してくださった全校生徒のみなさん、地域のみなさん、ありがとうございました。



応援に参加した生徒

○先輩達のプレーを見て一人一人のプレーが一つになっているのを感じました。これからもがんばってほしいです。(1年S.S君)

○初の小坂高校との連合チームでしたが、みんなで声をかけ合っていて、一体感がありました。(2年R.Kさん)

○今年は小坂高校と連合チームとして、最初は戸惑いなどがあったかもしれませんが、選手同士でコミュニケーションをとっている場面を見て、二つの高校が一つのチームにまとまった感じがしました。試合結果はコールド負けでしたが今回の大会で多くのことを学んだと思います。後輩には、日々の練習を積み重ねて、今年よりもよい成績を残してほしいと思います。最後に選手の皆さん今回の大会お疲れ様でした。そして、応援団として協力してくださった小坂高校生徒の皆さんありがとうございました。(3年S. I君)

このレポートは、生徒のアイデアで作成されています。